

インターネットで知り合った人と 会うことの危険性について

インターネットには、実生活での知り合いだけでなく、面識のない人とも気軽に交流できるサービスがたくさんあります。共通の話題についてやりとりしたり、友だちにはなかなか言いづらい悩み事を相談したりしているうちに、そうした人物と仲良くなり、実際に会おうといった話になることも珍しくありません。

しかし、インターネットで知り合った人に会いに行ったことでトラブルに巻き込まれてしまった人たちも多くおり、中には子どもたちが被害者になってしまったケースもあります。

プロフィールは簡単に偽ることができる

インターネットのやりとりではお互いの顔が見えないため、相手のプロフィールが本当のものなのかどうか確かめることができません。そのため、顔写真や年齢、性別などを簡単に偽ることができます。インターネットには、相手を信用させるために、同性や同年代の人物を装って近づいてくるような悪意を持った人もたくさんいるのです。



情報が少ないからこそ信用してしまうことも

また、インターネットのやりとりでは、相手の情報が少ないからこそ信用してしまうこともあります。

対面で会話している場合、私たちは相手の発言だけでなく、口調や様子なども含めた上で、その人が信用できるかどうか判断しています。例えば悩み事を相談したときに、「話を聞き流しているな」「早く話を終わらせようとしているな」などと感じたら、その人を信用することはないでしょう。

しかし、インターネットのやりとりでは、文字だけで相手のことを判断しなくてははいけません。そのため、相手からやさしい言葉をかけられただけで、「この人は親身になって私のことを考えてくれている。いい人だな」と、簡単に相手のことを信用してしまうことがあるのです。



インターネットには、犯罪行為などを目的に近づいてくるような人物が少なからずいます。また、インターネットのやりとりでは、対面の場合よりもだまされやすく、そうした人物を信用して会いに行き、トラブルに巻き込まれてしまうケースもあります。こうしたことを子どもたちに認識させ、インターネットで知り合った人とは絶対に会わないよう指導していくことが大切です。